

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 6 年 9 月 25 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470214408		
法人名	シューペルブリアン株式会社		
事業所名	グループホーム 輝きゆきの家		
所在地	〒738-0512 広島市佐伯区湯来町白砂423-2 (電話) 0829-40-5353		
自己評価作成日	令和6年8月14日	評価結果市町受理日	令和6年10月24日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470214408-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和6年9月18日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>・「有難う」を伝える事で「やる気」と「笑顔」が増えていく介護に力を入れています。 また、家族、地域との繋がりを大切にしています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>「笑顔の種」と「日頃の幸せを忘れない毎日」という理念の主旨を十分理解した上で業務に取り組むため、申し送り時やミーティングで周知し、利用者が生活する中で喜びが活力に繋がるよう取り組んでいる。運営推進会議では多職種の参加が得られ、管理者に加え各ユニットリーダーも出席する事で、参加者から直接生の声が聴取でき運営に活かせるよう努めている。防災意識が高く、実際に地域の集会場所までの避難訓練や緊急時、職員間の連絡訓練、防災ベストの装着、地域消防団や特別養護老人施設との連携、介護が必要な地域住民の受け入れの福祉避難所の設置など、有事の際の協力体制の構築に努めている。町内会長から地域行事の情報提供、地域包括支援センターと連携して認知症カフェの開設や百歳体操の開催、家族会など地域との交流の場を広げている。</p>

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	職員が見える場所に掲示し「日々の幸せを忘れない毎日」をお見守りする支援を心がけている。	理念を玄関フロアー、各ユニットの目に付く場所に掲示し、申し送り時やミーティングで意識づけし日頃の状況を情報共有している。感謝の気持ちを「ありがとう」で伝え、やる気を行動に繋げ、利用者から「何か手伝いましょうか」と自発的な活動が生まれ「笑顔の種」に向けた取り組みをしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	職員は施設周辺の掃除を行ったり、百歳体操や認知症カフェ等を行い交流している。	運営推進会議に出席の町内会長から地域行事の情報が得られ、とんど祭り・盆踊り・敬老会や認知症カフェなどで、地域住民との交流をしている。地域農家から米の購入や災害時に地域消防団との連携、福祉避難場所として広島市と協定を締結するなど地域と共に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	初詣、地域行事等に利用者と一緒に積極的に参加している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月毎に運営推進会議を行い施設での状況や行事等を報告し、参加者からの意見があればサービスに活かしている。	運営推進会議は定期的開催し、事業所の利用者状況、事故の状況、行事状況などの報告を地域包括支援センター、訪問看護ステーション他多職種の参加で意見交換を行い情報共有をしている。質疑には真摯に受け止め、今後の対応策を検討しサービスの向上に取り組んでいる。	家族代表、町内会長、民生委員、認知症地域支援推進員など多数の構成員で開催を行い意見交換を行っているが、不参加の利用者家族に会議議事録を送付し、利用者家族と運営情報の共有が一層進むよう期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護保険認定調査を申請したり、手続き等でわからない事があれば市町村担当者にすぐに連絡をとり指示を仰いでいる。	運営推進会議開催の案内状や会議議事録を送付し情報を共有している。災害時の福祉避難場所の設置を広島市と協定するなど積極的に取り組み、密な関係の構築に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>利用者の心身の状態を現場での実態を把握した上で身体拘束を行わない方向を追求していく、尚一時的に拘束を行わざるおえない事情が発生した場合にはご家族様と相談し同意を求める書類を作成している。</p>	<p>身体拘束廃止検討委員会を設置し2～3月毎に開催している。身体拘束に係わる研修を実施し、身体拘束の弊害やスピーチロックについて学びユニット毎に話し合い、「自己点検シート」を活用し自己検証を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>毎月研修を行っている、利用者様の訴えに耳を傾けるようにし、利用者様、ご家族様との情報共有に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるような支援している。</p>	<p>各種関係機関と連携し包括的な支援を行う。佐伯区生活課への相談業務を行う。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>管理者がご家族様に説明し意見、要望を求めている。請求時に利用者の状況を書面で送っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族様に状況を説明し意見、要望を求めている。請求時に利用者の状況を書面で送っている。</p>	<p>面会時や毎月の請求書郵送の際に担当者によるメッセージや「ゆきの家だより」で行事の様子を伝え、アンケートを実施して意見や要望を聴取している。家族の要望は職員が周知し介護計画などの反映に活かしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月ミーティングにて職員からの提案や改善策を聞き入れ代表者に報告し検討している。全員同じ介護が出来るように利用者の状況を把握するミーティングを行っている。	職員からは一人ひとりの介助方法や係わり方の提案や福祉用具の課題など話し合い、全職員が共通の支援ができるよう情報共有している。職員の要望で勤務時間を季節や気候など考慮し30分前倒しする事で働きやすい環境整備を行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	管理者も現場に入る事で職員個々の動きを把握し共感して協力的に動く事で環境整備に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	代表理事の指示のもと職員間での疑問があれば話し合い、お互いの知識を交換し合う事で技術向上させている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	相互訪問等は現在は出来ていない、電話連絡等の際情報交換する事でサービスの質の見直しを行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前の施設見学、説明等で納得して頂けるよう務めている。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	当施設の利用状況やサービスについて丁寧に説明し要望をお伺いしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人、家族様から要望に可能な限り対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	本人の要望や問題をと共に解決し日々生活して頂いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会や差し入れ等可能な限り協力していただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	その様な話をされている場合は傾聴し共感するよう努めている。	日頃の会話の中で個々に合ったアプローチで傾聴、共感し思いを汲み取っている。職員と一緒に残暑見舞いの作成や電話の取り次ぎなど、関係が途切れないように努めている。入居後は誕生日月に外出しカフェでケーキセットを食べるなど新たに関係ができるなど、人や場との関係の継続支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	職員が間に入り利用者様の会話の手助けをしたりレクリエーション等皆さんで出来ることを考え参加してもらっている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	終了後も関係を保ち支援可能なことをお伝えしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来る限りの希望に答えている。	生活歴や日頃のコミュニケーションの中で言動や行動から思いや意向の把握をしている。表出の困難な場合は表情や仕草、家族のアンケートなどを参考に把握し情報を共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	今までの情報を確認して把握している。コミュニケーションが可能な利用者様には直接聞き取りをしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々の能力を把握しその方にあった生活を送ってもらっている。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>毎月のミーティングで個々の状況を見ながら現状に即した計画の作成を行い申し送り等で出た意見を検討し現状に合ったケアをしている。</p>	<p>自宅でしてきた事が継続できるよう目標に掲げサービス内容に詳細に示し、毎月個々の実施状況を行い、3ヶ月毎にモニタリングで確認している。現状に変化があれば見直しを行い、職員、看護師など関係者の意見や提案が反映した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子やケアの実践、結果、気づきを記入し職員間で情報を共有し実践に活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ変わるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人や家族の状況、ニーズに柔軟に対応するよう取り組んでいる。個々に合わせその時に合ったケアを実践している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域周辺の散策等をしながら季節を感じてもらっている。地域の行事に参加し楽しむことができるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人、家族様の希望を重視し家族の協力を得ながら適切な医療が受けられるよう支援をしている。原則家族様に病院受診をお願いしている。</p>	<p>利用開始時に本人・家族にかかりつけ医の希望を聞いている。殆どの利用者が協力医療機関をかかりつけ医としている。月2回の訪問診療、週1回訪問看護師の来訪があり、健康管理や緊急時の対応など連携体制を築いている。他科は家族の協力での受診や訪問歯科も可能で、適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	パソコン・ホワイトボード・連絡ノートに気づいた事を書き、常に訪問看護等に情報を提供し対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	管理者を通じ職員間で常に状態を把握し相談、対応できるようにしている。病院内でどのような対応をされているか生活されたかを記録したものを共有している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した場合、本人確認の指示が入らない状態の場合主治医との連携を取り合いながら家族への説明、方針を伺い支援できるようにしている。	契約時に「重度化・終末期の対応指針」を説明し確認している。重度化した場合、再度家族に説明確認をしている。医師、看護師、職員などチームで方向性を決め、利用者、家族に寄り添う看取り支援をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	管理者への報告。バイタルチェックを欠かさず行っている。実践できるよう常に身につけるよう努めている。緊急時対応マニュアルを作成し、職員の対応が統一できるようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に避難訓練を行い役割分担し地域とも関わりを持ち、テレビやその他の情報をいち早く受け取り対応している。	年2回昼夜想定した訓練をしている。実施の際は全員で地域の集会所まで移動を行い時間の計測を行い課題の検証をしている。氏名・施設名・緊急連絡先、服薬情報などを入れた防災ベストを装着した避難訓練をしている。有事の際、地域住民の協力や消防団との連携が整っている。	

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人生の先輩として尊敬しその家族を守り身の回りのお世話をさせていただく。という気持ちで言葉遣いに留意しながら接するよう努めている。	「接遇について」利用者の「権利擁護」の研修を年間研修に組み込み、人格の尊重、プライバシーの確保を認識し意識づけをしている。日頃から言葉遣いなど気づきは注意指導を行う事で対応している。個人情報など書類は事務所で管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常の会話を通じて親近感を高め思いや望みを話しやすい環境に整え全体のバランスの中で利用者の思いを実践できるよう心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	可能な限り利用者のペースで進め、ペースを乱さないように心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	希望者には美容師が訪問しカットをして頂いている。入浴時の着替えや日々の拭くといった行為も職員と一緒に考えている。また男性のひげ剃りも見守りにて行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事前後のテーブル拭きやお盆拭き、食器洗い等して頂いている。	副菜は調理済の食材を温め盛り付け、農家から購入した米を朝は炊飯器で昼夕は土鍋で炊いたご飯を、個々に合った食事形態で提供している。特別食は行事や季節を感じる普段とは違う食事を提供している。家族会では家族と一緒に食事を行っている。食事中は音楽を流しゆっくりと食事が楽しめるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>入居者一人ひとりの毎日の体調管理を行い食事量や水分摂取量に気をつけて提供できるよう支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>ご自身で行える入居者は声掛けを行いそうでない入居者は介助や見守りで口腔ケアを行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>定期的にトイレの声掛けやトイレ誘導を行い排泄を促している。</p>	<p>排泄表で一人ひとりの排泄パターンを把握し，声かけ誘導で意識を持ってもらいトイレで排泄出来るよう支援している。便秘予防対策として，散歩やスポーツ飲料など水分補給1000～1200ccを目安として支援している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分摂取と腸内体操などを行っている。一人ひとりの周期を確認し主治医や訪問看護師に相談し指示を仰いで便秘薬などを提供している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週2回声掛け・見守りにて入浴されている。ご自身で入れない入居者は全介助にて気持ちよく入浴をしていただいている。</p>	<p>週2回を基本としている。入浴剤を入れ香りを楽しんだり，個々の状態に応じた介助方法を工夫しながら，入浴でリラックスし満足してもらえるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>時間で定期巡室し安全を確認している。ホールで過ごされたり居室で休息したり自由に出来るよう支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>訪問看護師に報告し指示を仰いでいる。服薬の情報をファイルし職員がいつでも確認できるようにしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>食器洗い、お盆拭きやフロアの掃き掃除等、個々の体調や状態に考慮し役割の支援を行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>季節を感じて、初詣・花見に出かけ他者との交流を深めている。誕生日にはカフェに行きケーキを食べ楽しまれている。</p>	<p>誕生日月に地域のカフェに外出し、好みのケーキや飲み物を食べ、非日常的な楽しみを行っている。散歩や神社へ初詣、花見や牧場に出かけ、地域の方との交流をするなど外出支援をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>希望する利用者には家族の同意のもと少量のお金を所持して頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	家族からの電話を取り次ぎ話しをさせている。季節ごとにハガキを作成し家族に送っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	フロアの飾り付けを季節ごとに替え季節感を出している。またフロアに数カ所温度計を設置し温度調節を行っている。	季節を感じてもらえるよう壁画の飾り付けや空調管理をしている。皆が寛げるよう机、椅子の配置に工夫している。食事中はテレビを消し、音楽を流しゆっくりと落ち着いた雰囲気ですらできるような工夫をしている。敬老の日にはボランティアの来訪でフロアで歌を唄うなど、楽しむ取り組みを行った。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居室とフロアを自由に行き来出来るようにしている。気のあった利用者同士で穏やかに過ごせるよう席を配慮し考慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人や家族と相談しながら使い慣れた物や写真を配置し本人が居心地よく過ごせるよう支援している。	居室は生活導線を確保し安全に過ごせるよう本人・家族と相談し配置している。仏壇、写真、塗り絵、パッチワークの作品など大切にしている物や使い慣れた物に囲まれ居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレや洗面台の場所がわかりやすく表示し自立を目指し安全に生活が送れるよう支援している。		

V アウトカム項目(Bユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(Cユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	職員がいつでも確認できる所に掲示している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事に参加したり、いきいき百歳体操に地域の方も参加して頂いている。また、認知症カフェも行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症カフェを通じて地域の方々に向けて発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	定期的に開催して行事やサービスに関してご意見やご報告を頂いている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議を通じて意見や助言を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(Cユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	行動制限がないよう見守りを行い対応している。また定期的に研修も実施している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的に研修を行い知識向上に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	定期的に勉強会を行っており学ぶ機会がある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約説明の際にはグループホームの趣旨を理解して頂けるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者の要望等は、耳を傾け汲み取るように心がけている。ご家族には面会時等に要望等を伺うようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(Cユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1回のミーティングを行い、情報共有・意見交換などを行っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	面談を実施し職員個々の努力や勤務状況を把握し、評価している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	様々な研修を定期的に行っており、積極的に参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	ズーム会議への参加などで情報交換を行っている。相互訪問をする事で自施設の業務改善に努める。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事前に施設内を研学したり、体験して頂き困っている事、不安な事や要望を聞いている。		

自己評価	外部評価	項目(Cユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族の困っている事、不安な事、要望を聞き個々に応じたサービス提供に努め支援を行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	事前訪問の機会を設け本人やご家族の不安や要望を聞いている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	自分で出来ることはして頂き、話しをしたり、表情等から状況の把握に努め、楽しく共同生活が送れるよう支援している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会に来て頂き、家族交流にも参加して頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族や本人から馴染みの人や場所等聞き話しをしている。		

自己評価	外部評価	項目(Cユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者の特徴を把握し、席を考慮しながらレクリエーション等を通じ良好な関係性を保つようになっている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご家族とメールや電話を通じていつでも支援させて頂くことを伝えている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	生活歴を考慮し、ご本人らしく生活出来るように支援を行っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人様、ご家族様より生活歴をお聞きしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の生活状況を把握し、個々の能力に応じた支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(Cユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>日々の生活状況を把握し、毎月のミーティングで支援方法を模索し、より良い介護を検討している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>連絡ノートを活用して情報共有をし、ミーティング等で情報の周知を図っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>毎月のミーティングの際に柔軟な支援方法を検討している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>施設周辺の散歩や地域行事への参加により、地域資源を把握し楽しみを感じられるよう支援を行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご本人様、ご家族様の理解を得て、かかりつけ医を確認している。かかりつけ医と連携を取り、緊急時はご家族様と密に連絡を取り、かかりつけ医の指示の元、適切な対応を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(Cユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週一回の訪問看護時に利用者個々の様子や状況の報告を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の病院等へ定期的な連絡を行い、医師・看護師等との良好な関係づくりを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご家族様より記入頂いた延命治療の用紙をもとにし、主治医・訪看との連携に努めている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時対応マニュアルを作成し、緊急時に職員が取るべき対処の手順を施設内全体で共有している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回消防総合訓練・避難訓練を利用者・職員と共に実施している。地域とも協力体制を整備している。		

自己評価	外部評価	項目(Cユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	権利擁護に関する研修を実施し、利用者個々の尊厳を守れるよう対応している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者様の希望や思いに寄り添った対応ができるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者個々の趣味・生活歴を考慮し、レクリエーション等を提供している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	定期的に訪問美容に来ていただいている。ご自身でできない場合には介助にて洗顔・整容を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	BGMを食事中に流し落ち着いた環境で食事できるよう配慮質得る。トレイ拭き・食器洗い等の片付けをされている。		

自己評価	外部評価	項目(Cユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	利用者個々の食事形態を把握し、職員間で情報共有を行い支援している。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	ご自身で出来ない方には介助にて口腔ケアを行っている。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	利用者個々の排泄パターンを把握し、その人に応じた支援を行っている。		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	食事量(野菜)・水分量の情報を職員間で共有し、又歩行運動といった声掛けを行っている。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	利用者個々のペースに合わせて、入浴支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(Cユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している。	利用者個々の状況に応じて休息 の時間を設けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	利用者個々の薬情報を職員間で 情報共有をしている。又、薬情 報をすぐに確認できる場所に 保管している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	食器洗いやトレイ拭き等個々の 体調や状態に考慮し役割の支 援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	誕生日には地域のカフェに行き 、ケーキと飲み物を楽しみなが ら食べて頂いている。季節に応 じて花見や牧場に出掛け他者 との交流を深めている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	希望される利用者にはご家族 同意のもと少量のお金を所持し 管理されている。		

自己評価	外部評価	項目(Cユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望される利用者には携帯電話で電話してお話されている。家族からの電話も取り次ぎ話されている。季節ごとにハガキを作成し家族に郵送している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節ごとに共有スペースの飾り付けをかえたり生活感や季節感を取り入れている。フロア内に数か所温湿度計を設置し温度調節を行っている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>気の合った利用者同士で穏やかに過ごせるよう席の配置を考慮している。一人席を希望される利用者にはお一人で過ごせるよう席の配置を考慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人と家族と話し合いながら使い慣れた物や写真を配置し安全に過ごせるよう生活されている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレや洗面台の場所をわかりやすく表示し、また自立を目指し安全に生活が送れるように支援している。</p>		

V アウトカム項目(Cユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム輝きゆきの家

作成日 令和6年10月22日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の議事録を相談室前に置きいつでも見ていただくようにはしているが、実際に見られる事は少ない。	利用者家族様と運営状況の共有ができる。	運営状況等、定期的に送り家族様に共有していただく。	6ヵ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。